陳　情　文　書　表

（令和８年12月１日）

受理番号・受理年月日及び件名	陳情第265号（８．11．19） 住民の生命と財産を守るため、神戸空港の「特定利用空港」指定に反対を求める陳情
陳情の要旨	１．神戸空港を軍事目標化する「特定利用」の枠組みに、神戸市は合意しないこと。 ２．神戸市は、地方自治の保障の意義を守ること。
陳情者の住所及び氏名	神戸市須磨区 神戸空港を軍事に使うな須磨の会 代表世話人　加藤　擁一
送付委員会	経済港湾委員会

神戸市会議長様

2026年11月19日

神戸空港を軍事に使うな須磨の会
代表世話人 加藤擁
神戸市須磨区

住民の生命と財産を守るため、 神戸空港の「特定利用空港」指定に反対を求める陳情

令和8年3月30日に、国から、神戸空港を「特定利用空港・港湾」の対象候補として検討していることについて説明がありました。

政府は、大規模災害時に「災害派遣の救援 部隊の派遣をより効率的に実施」するための、インフラ整備や平素における自衛隊の訓練であると説明していますが、実際には有事（戦争）を想定した動きではないかとの危惧を、多くの市民は持っています。政府は武器・弾薬の持ち込みや米軍の利用も明確に否定はしていません。「災害対策」に「特定利用空港」指定が必要なのか、極めて疑問です。「災害対策」を言うなら、避難所の整備や住居耐震化の推進などこそ、最優先して行うべきではないでしょうか。

すでに「特定利用空港」に指定されている和歌山県の南紀白浜空港では、昨年10月自衛隊のF15 戦闘機の離着陸訓練が行われました。会話がほぼ不可能な１００デシベルの爆音が測定され、「すごい騒音だった」との住民の声が上がっています。ポートアイランドには1.4 万人の人々が暮らしています。多くの教育施設や重要な医療機関も集積しており、神戸空港でこのような訓練が行われると、市民が騒音や万一の事故の危険にさらされることになります。

またジュネーブ条約では、「民間施設」への攻撃を禁じていますが、軍事利用されれば、保護対象から外され、攻撃の対象となります。民間空港・港湾を軍事利用することは、住民 の不安を一層高めるものです。政府は「攻撃目標とみなされる可能性が高まるとはいえません」と否定していますが、ウクライナやイランなどの戦争の例をみれば、一旦有事ともなれば、神戸市民が巻き添えを食うのは明白でしょう。

市民生活に悪影響をもたらし、市民を戦争に巻き込むおそれのある、民間施設の軍事利用に反対します。神戸空港は神戸市が管理する空港です。市長の同意がなければ、国は「特定利用空港」の指定は出来ません。
以下の陳情を行います。

【陳情項目】
・神戸空港を軍事目標化する「特定利用」の枠組みに合意しないでください。
・神戸市は地方自治保障の意義を守ってください。